



# あいの土山 そぞろ歩き



原稿執筆者

まちかど特派員  
富田 聡美(土山町)

甲賀市の東の玄関口であり、また旧東海道49番目の宿場町として栄えたまち、土山。この土山宿の歴史と伝統を守り、伝え、活かしていく様々な行事とスポット、大自然の遊空間をご紹介します！

「坂は照る照る 鈴鹿は曇る あいの土山 雨が降る」で有名な鈴鹿馬子唄。毎年6月に開催される「鈴鹿馬子唄全国大会」には、全国各地から大勢の民謡愛好家がまちを訪れ“鈴鹿馬子唄日本一”をめざし自慢ののどが競われます。また、平安の世に始まった斎王群行を現代に蘇らせる「あいの土山斎王群行」は華やかな平安装束に身を包んだ総勢80人からなる大行列が大野小学校から垂水頓宮までの道をゆっくりと厳かに練り歩きます。



平成万人燈をはじめ国道沿いに見られる数多くの灯籠、東海道松並木、土山宿本陣跡周辺の町並み保存区域、また土山の歴史と、そこで生活を営んできた人々の姿を映像や模型でわかりやすく紹介している「土山歴史民俗資料館」、民家を改修し、かつての間屋場の機能を再現させ、往時の土山宿へタイムスリップできる「東海道伝馬館」…土山宿を訪ねればあちこちに先人たちが生きた時代の息吹が感じられます。

また、鈴鹿山麓が紅葉に彩られる秋、満々と水をたたえる青土ダム湖畔やみどり輝くお茶畑と風光明媚な土山路で約3000名のランナーが颯爽と駆け抜ける「あいの土山マラソン」をはじめ、鈴鹿山麓の大自然のパノラマを楽しめる鈴鹿スカイライン、キャンプ場やログハウス風コテージなどがあり大自然を満喫できる青土ダムエコバレー、清流での渓流釣り、そして自然と戯れた後の疲れた体を癒してくれる「かもしが温泉」…鈴鹿の山々の美しい四季の変化と野洲川の清流は、独特の風物詩で自然と心と体が躍り出します！

人と歴史と自然がとけあったふるさと“あいの土山”でお気に入りの癒しの空間スポットを探してみませんか？！

